



アートスパークホールディングス株式会社

2018年12月期 第2四半期

決算説明補足資料

目次



1.業績ハイライト

1-1.連結損益計算書 2

1-2.連結貸借対照表 3

1-3.事業セグメント別損益の状況 4



2.事業セグメント別の概況

2-1.クリエイターサポート事業 5

2-2.UI/UX事業 6



3.今期の主要施策 7

1-1.連結損益計算書

単位：千円

	期間比較(1月～6月)			※ご参考
	2017年 12月期 第2四半期	2018年 12月期 第2四半期	前年同期比	2017年12月期 通期
売上高	1,722,293	1,923,007	11.7%	3,636,018
営業利益	253,830	302,431	19.1%	423,803
経常利益	243,703	289,943	19.0%	410,425
純利益	220,958	249,644	13.0%	374,791

■業績の概況

- ・売上高：前年同期200,714千円増加
- ・営業利益：前年同期48,600千円増加
- ・経常利益：営業外費用で為替差損等の合計13,104千円により289,943千円の経常利益
- ・純利益：税金費用等により249,644千円の純利益

■トピックス（2018年1月～6月）

- ・ソフトウェアIPを核とした経営に重点、開発リソースの戦略的配置等、経営効率向上に注力

1-2.連結貸借対照表

単位：千円

	前連結会計年度末 (2017年12月末日)		当連結会計年度第2四半期末 (2018年6月末日)		
	金額	構成比	金額	構成比	前期末増減額
流動資産	2,996,405	74.5%	3,243,257	77.1%	246,851
固定資産	1,027,710	25.5%	965,448	22.9%	△62,261
繰延資産	—	—	—	—	—
資産合計	4,024,115	100.0%	4,208,706	100.0%	184,590
流動負債	676,402	16.8%	626,365	14.9%	△50,037
固定負債	180,242	4.5%	190,167	4.5%	9,924
負債合計	856,644	21.3%	816,532	19.4%	△40,112
純資産合計	3,167,471	78.7%	3,392,173	80.6%	224,702
負債・純資産合計	4,024,115	100.0%	4,208,706	100.0%	184,590

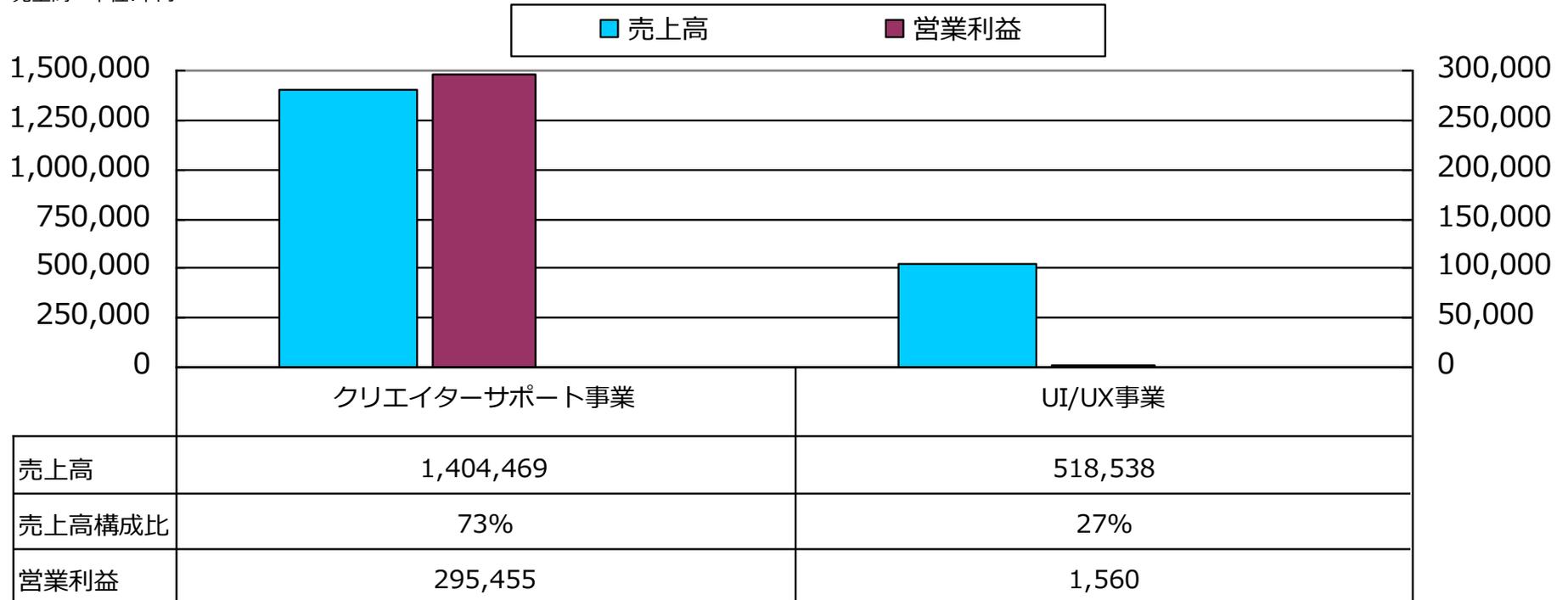
■ 主な増減の内容

- ・ 資産の部：現金及び預金の増加+85,282千円、売掛金の増加+23,206千円、仕掛品の増加+30,601千円、ソフトウェア仮勘定の増加+612千円、ソフトウェアの減少-61,594千円
- ・ 負債の部：未払法人税等の増加+15,698千円、短期借入金の減少-140,000千円、長期借入金の減少-18,080千円、
- ・ 純資産の部：当期純利益計上により利益剰余金の増加+222,476千円

1-3.事業セグメント別損益の状況

売上高 単位:千円

営業利益 単位:千円



■売上高

- ・クリエイターサポート事業は18.3%増加、UI/UX事業は3.2%減少

■営業損益

- ・クリエイターサポート事業は23.4%増加、UI/UX事業は9,652千円増加

2-1. クリエイターサポート事業

単位：千円

	期間比較(1月～6月)			※ご参考
	2017年 12月期 第2四半期	2018年 12月期 第2四半期	前年同期比	2017年12月期 通期
売上高	1,186,618	1,404,469	18.3%	2,345,913
営業損益	239,368	295,455	23.4%	300,075

■業績の概要

- ・売上高では、対前年同期で217,850千円の増加となり、営業利益では、対前年同期で56,086千円の増加となりました

■トピックス (2018年1月～6月)

- ・「CLIP STUDIO PAINT for iPad」の新グレード「PRO」と「年額プラン」を全世界同時に提供開始
- ・ペンタブレットでの作業がより快適になる入力デバイス、新型「CLIP STUDIO TABMATE」の販売を開始
- ・創作応援サイト「CLIP STUDIO」の登録者数は124万人を突破 (6月末時点)

2-2.UI/UX事業

単位：千円

	期間比較(1月～6月)			※ご参考
	2017年 12月期 第2四半期	2018年 12月期 第2四半期	前年同期比	2017年12月期 通期
売上高	535,675	518,538	△3.2%	1,290,104
営業損益	△8,091	1,560	—	55,573

■業績の概要

- ・売上高では、対前年同期17,136千円減少となり、営業損益では、対前年同期で9,652千円の増加となりました

■トピックス（2018年1月～6月）

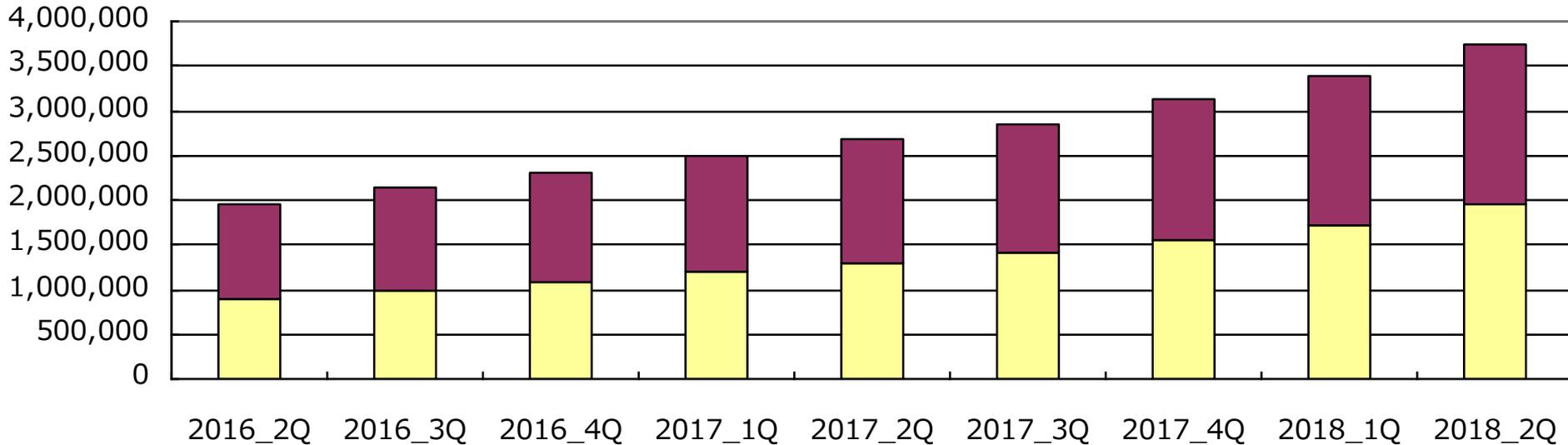
- ・アイテック阪急阪神株式会社と共同で開発したHMI開発ソリューションのデモ機を自動車技術者・研究者のための自動車技術の専門展「人とくるまのテクノロジー展」において展示
- ・大手OEMの車載機器向けサービスソフトウェアに採用されている、移動体向け車載情報伝達ソフトウェアの累計出荷台数が、北米市場を中心に240万台を突破

3. 今期の主要施策

1. ソフトウェアIPを核とした経営に重点
2. 引き続き、開発リソースの戦略的配置等、経営効率向上に注力
3. CLIP STUDIOの開発・サービス提供を強化し、グローバル展開を更に加速
4. CLIP STUDIOプラットフォームを活用したコンテンツ制作・流通・再生にまつわる提供サービスの開発
5. 自動車を中心とした様々な組込機器向けにノウハウを集中、ビジネスを強力に推進
6. 自社IP製品(UI Conductor、Affinity、VI Transfer等)の機能強化に向けた開発に注力

3-3.CLIP STUDIOグローバル展開を更に加速

「CLIP STUDIO PAINT」言語別累計出荷状況

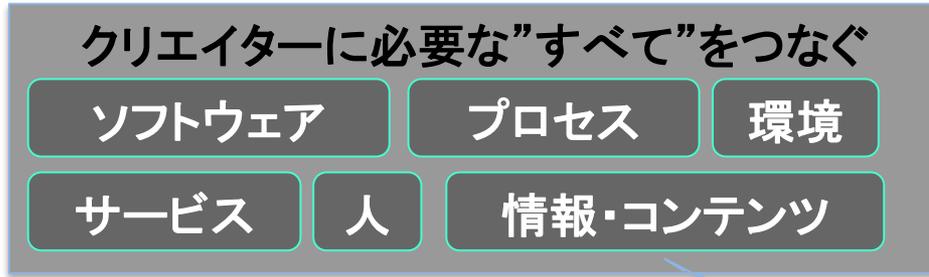


- 「CLIP STUDIO PAINT」は2013年9月から英語版、中国語（繁体字版）、2014年7月からフランス語版、スペイン語版、2016年5月から韓国語版、2017年9月からドイツ語版をリリースし、多言語に対応

- 日本語版のみで提供していた株式会社アイビスモバイルの人気描画アプリ「ibisPaint」と「CLIP STUDIO PAINT」の連携機能を、全言語で利用可能にし、利便性を向上

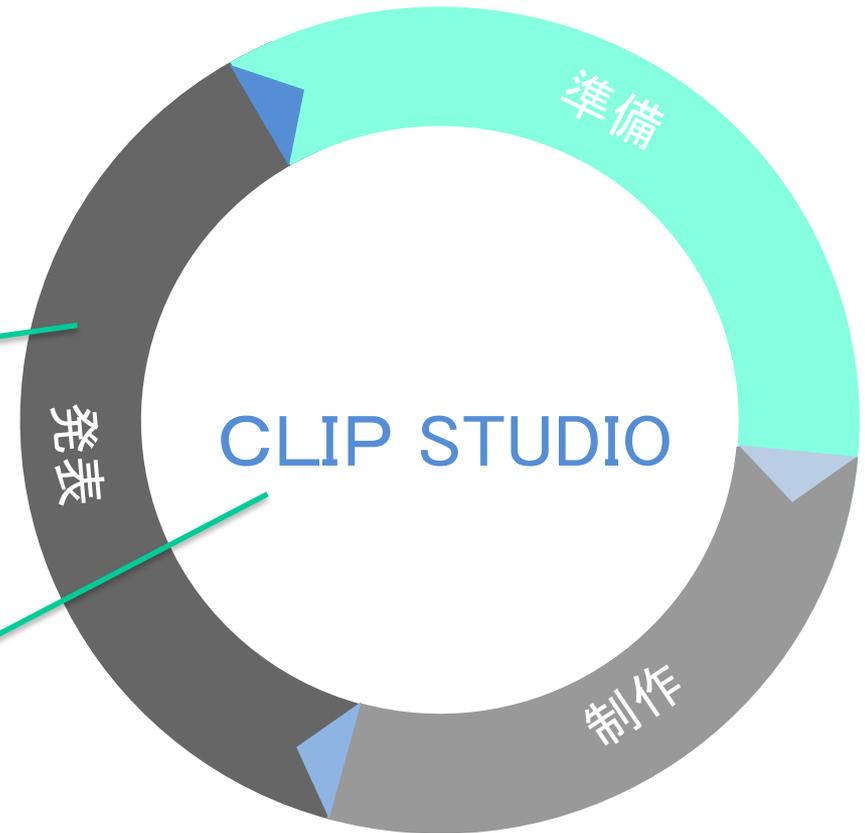
- 「CLIP STUDIO PAINT」の累計出荷本数が全世界で374万本を突破

3-4.CLIP STUDIOを活用した提供サービスの開発



2D・3D・電子書籍で培った
ノウハウの融合により、
クリエイターに新たな価値を提供

全世界でユーザーを拡大していくために
必要な機能・サービス開発



3-5.exbeans UI Conductor (エックスビーンズ ユーアイ コンダクター)



組込HMIを開発するための統合的なソフトウェア群

ツール上で素材配置、インタラクション設定、アニメーション設定をオーサリングした、プロジェクトデータを実装環境上で量産開発することができます。

市場ニーズに応じ、随時バージョンアップを行っており、最新バージョンでは、3D機能の強化とマルチプレビューの対応等の新機能を追加し、UI / UX開発の効率化に貢献できるソフトウェアになっております。

3-5. exbeans Affinity (エクスピーーンズ アフィニティ)

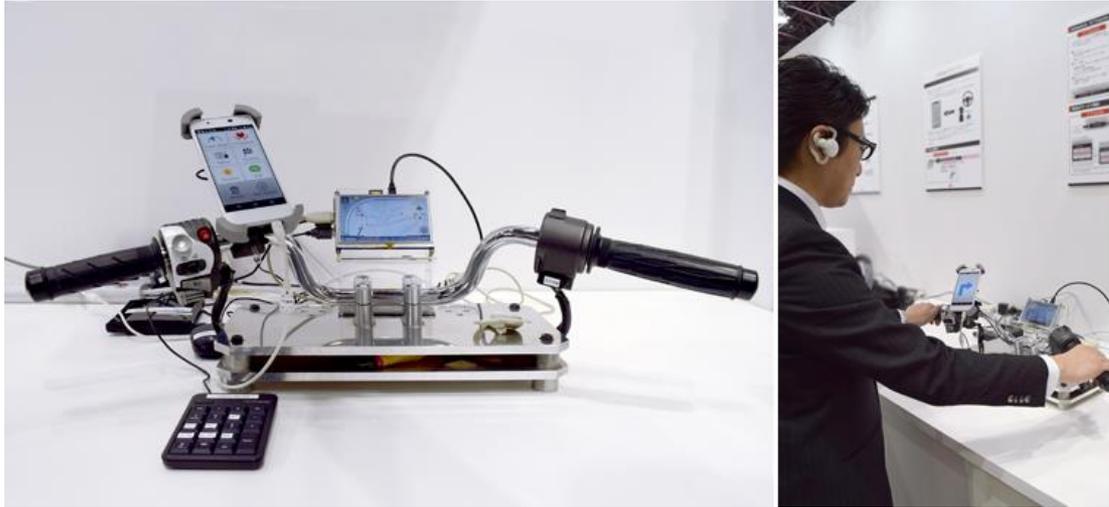


Webアプリケーションプラットフォーム

テレマティクスサービス（自動車等に携帯電話等を利用してサービスを提供すること）を始めとした様々なサービスを実現するための汎用ライブラリであり、また柔軟なサービスアプリ開発に耐えられるコアライブラリです。

Webアプリケーションプラットフォームとして利用することで、容易に情報配信や更新、情報収集が可能です。

3-5. exbeans VI Transfer (エックスビーンズバイアイトランスファ)



※イメージ写真になります。(実際の装備はワイヤレス)



新たに提供した車両情報伝達ソフトウェア

二輪、四輪をはじめとする車両から得られる情報（CAN情報）を、アプリケーションへ伝達する汎用モジュールであり、アプリケーション側は、取得した情報を利用したサービスを提供することができます。

前出の「exbeans Affinity」と組み合わせることで、Affinity上で構築したWebサービスを利用することができます。



本資料は、当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては2018年6月30日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見/予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また、今後予告なしに変更されることがあります。